



広報 Nikaho City

# にかほ



## 夫婦道

特別なことはしてやれなかった。  
それでもおまえと50年  
何でもおいしいと食べてくれた。  
そんなあなたと50年

これからも2人で  
歩んでいこう…

平成23年度にかほ市金婚式から

vol.146 10.15  
2011

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

がんばろう東北

### 主な内容

- 「いざ」という時（防災特集）…P 2～3
- 求む!!市民の声! ……P 4～5
- 人事行政の運営状況……P 6
- まちの話題………P 8～9

白瀬南極探検隊100周年記念特集

その拾七



第一次航海で引き返したコールマン島で  
流氷上のペンギン7羽を捕獲

日本へ一時帰国した野村船長や多田恵一のほか、補充された学術部の池田政吉、彦と火夫の浜崎三男作の計4名が加わります。一方、丹野善作ら4名が除隊。隊員は第一次と変わらず27名でした。

開南丸は喫水線より上が灰色、下を錆色に塗り直されるなど修繕を完了。明治44年（一九一二）11月19日、新調した三角帆を張り、補充した樺太犬を積んだ開南丸はシドニー港を出港します。出港の際にシドニー市民らの盛大な見送りを受けた白瀬は、滞在中の厚遇への返礼としてデイビッド教授に日本刀「陸奥守」を贈っています。

航海中、芝浦出航一周

年の11月29日には武田学術部長が田泉映写師を指揮し、大荒れの天候の模様や隊員の合唱、30度以上に傾き、揺れるマストに昇つて作業をする船員の壮快な場面などをフィルムに納めます。12月11日には第二次航海で最初の氷山を確認し、21日には猛烈な吹雪の中で南極圏入り。26日には醤油樽を改良した白で餅をつき、明治45年の元旦を南氷洋で迎えます。

開南丸はロス棚氷から離れた氷山の合間に縫航して進み、1月16日いよいよ南極大陸に接岸。午前7時半、大氷堤に沿ったところに小さな湾を発見する



開南湾に上陸した4人の隊員と天測した地点には旗が描かれている（野村船長の日記から）

別の上陸地点を選ぶしかない。白瀬隊長の名刺を氷底に埋めてきた」と報告。白瀬隊はその地点の上陸を断念しましたが、この南緯78度17分、西経162度50分の地点を白瀬隊の第一上陸地点とし「開南湾」「四人氷河」と命名。一路、鯨湾に向かいます。

開南湾は後年、アメリカのバードによつてヘレン・ワシントン湾と名付けられましたが、白瀬隊が先に命名した事実が判明し撤回します。これは白瀬隊の成果が国際的に認められた事案として評価されています。



白瀬日本南極探検隊100周年記念事業推進事務局  
白瀬南極探検隊記念館  
平成23年10月1日、第11次南極観測隊の隊員たちが白瀬を墓参（淨蓮寺）

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所  
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

0184-43-3200（代表） 0184-43-7510（直通）  
電子メールアドレス [info@city.nikaho.lg.jp](mailto:info@city.nikaho.lg.jp)  
ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>

広報にかほは、にかほ市ホームページでもご覧いただけます



未知に挑む  
～南十字星のもとに～

南極初上陸と開南湾命名